

## 曾根天満宮の霊松



令和7年

菅原道真は学者・詩人・政治家として活躍していたが、政争に敗れて昌泰4(901)年に太宰府に左遷された。その道中、曾根に立ち寄り、「我に罪無くば 栄よ」と今の曾根天満宮の地に小松を植えた。道真の死後、都で異変が相次ぎ、怨霊とされた。醍醐天皇までが体調を崩し、3カ月後に崩御した。道真を陥れた藤原時平が、39歳で亡くなった。



菅公が手に霊松をもち、背景に梅の花を配する。歌は下記の通り。

さかえよと うえや  
おきけむ いまも  
な  
そのよの ままの  
かみがきの まつ



年代不明



古霊松殿



五代目霊松